

他校の生徒との「協力」の姿勢と、周囲の人への「感謝」の気持ちをもって、学校ではできない体験をすることができました。

6組 清里移動教室 6月10日(水)～12日(金)

6月10日(水)から12日(金)まで、区内4校の特別支援学級合同での清里移動教室が行われました。

初日は、「高根クライנגアルテン」で「ほうとうづくり体験」を行いました。かぼちゃなど野菜を切る作業は、先週の調理実習で練習したこともあり順調でした。一方、ほうとうづくりでの粉を捏ねる(こねる)作業は、初めてのため戸惑いました。しかし、インストラクターの方たちの丁寧な指導もあり、だんだんと慣れてきて、まるで“(ラーメン屋さんなどでみかける)麺打ちの職人さん”のような手つきをみ



せる生徒もできてきました。出来上がったほうとうが今日の昼食です。麺は、各班それぞれで生地を切ったため太さは様々でしたが、自分たちでつくったためか、とても美味しかったです。

二日目は、長野県白樺湖畔の「池の平ファミリーランド」内で班行動を行いました。



「世界の影絵・きり絵 ガラス・オルゴール美術館」では、藤城清治の30以上に及ぶ影絵作品が展示されており、特に全長30mのパノラマ連作「白樺湖の四季」は、大きさだけでなく、その繊細な表現技法の凄さに圧倒されました。続く「蓼科テディベア美術館」は、世界のテディベア11,000体余りを集めた、世界最大規模のテディベア美術館で、とにかくその数の多さに驚かされました。

次に、「わくわくどうぶつ王国」を見学しました。ここには40種類以上の動物がおり、それらをかなり間近で見たり、実際に触れたりできる珍しい動物園でした。リスザルやナマケモノがいる檻には入ることもでき、中に入るとリスザルが肩に乗ってきたり、木の枝を動き回るナマケモノを目の前でみたりすることができました。よくある“ふれあい動物園”とは一味違う、貴重な体験でした。





夜は雨が降り始めたため、体育館でのキャンドルファイヤーでした。採火のセレモニーでは、石井さんと山下さんが八幡中の代表として“火の神”から「元気の火」と「友情の火」を受け取りました。その後のレク大会では、「猛獣狩りゲーム」とフォークダンス「マイム・マイム」を行いました。他校の生徒とも交流を深めながら、盛り上がることができました。

最終日は、川俣川釣りセンターで釣り体験をしました。初めてだけど思いのほかうまく釣れる人がいる一方、目の前の川の中を魚が泳いでいるのが見えているのにエサに食いつかずなかなか釣れない人もいました。さらに、自分たちでさばくのですが、慣れない作業にてこずっていました。しかし、そうした苦勞して目の前で焼いた魚は、ふわふわで塩味が効いていて、とても美味しかったです。



今回の移動教室は、他校の生徒とも3日間の生活で「協力」をし、様々な周囲の方たちの支えに「感謝」しながら、学校ではできないことをたくさん体験できた三日間でした。